

令和2年4月27日

普及センターだより **水陸萬頃**

創刊号

奥州農業改良普及センター TEL: 0197-35-6741 FAX: 0197-35-6303
いわてアグリベンチャーネット <https://i-agri.net/>

※水陸萬頃とは

「続日本書記」によると、胆江地域は「水と土地が豊かなところ＝水陸萬頃」と記されている。

胆江と共に、地域農業を次代へ

奥州農業改良普及センター所長 加藤満康

春の陽ざしが暖かく照らしています。皆様には、日々農作業に勤しみ、同時に地域の務めを果たす姿に接し敬意の念を新たにしています。改めて日頃より、普及活動に御協力を賜っていること厚く感謝申し上げます。

連休前には、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が全国に拡大され、当地方も緊迫度を増しています。この困難を乗り越えていくために、我々も動向を注視し対応に身を引き締めていますので、何かと御相談ください。

さて、時代の移り変わりとともに、71年間に渡り慣れ親しんだ「農業普及」誌は昨年12月号をもって幕を閉じ、その情報発信の役割は「いわてアグリベンチャーネット」に引き継がれました。とは言え、ネットでは伝わりにくい身近な情報もあるのでその伝達を手助けするため、普及センターだより「水陸萬頃」を創刊します。この名称は平安時代の史書に記されており、胆江が水と大地に恵まれていることを意味する言葉です。古くから営まれてきた地域の農業を次代に受け継いでいきたいとの願いを込めて名付けました。年に4回発行しますので、御愛読賜れば幸いです。

当センターの業務は、本年度も「県民計画」や「普及指導計画」に即し、地域の特色を生かして、経営体や産地の育成、地域活性化に向けた活動を展開します。職場は、春の人事異動による転入5名と新採用1名を含む21名体制で、気持ちも新たに始動しており、赴任してきた職員には、早く地域と人を知って活躍してくれることを願っています。また我々は、「胆江と共に、頼られ、役に立ちたい」との気持ちで全力を尽くす所存ですので、皆様の変わらぬ御協力をお願いします。

結びに、この1年穏やかな天候に恵まれ健康で安全に暮らせること、併せて皆様と共になった活動が奏功し地域農業が発展することを祈念し、その傍らで「水陸萬頃」がキラリと光を放つ時があることを願い挨拶とします。

令和2年度 奥州農業改良普及センター活動体制

所長 加藤 満康

経営指導課

経営指導課長 小田中 浩哉

課員 (7名)

| | | |
|---------|--------|------------------|
| 上席農業普及員 | 佐藤 成利 | (総括、花き・経営体育成) |
| 上席農業普及員 | 佐藤 千秋 | (水田農業・経営体育成、GAP) |
| 上席農業普及員 | 増田 隆晴 | (畜産・経営体育成) |
| 上席農業普及員 | 川守田 真紀 | (果樹・経営体育成) |
| 上席農業普及員 | 小川 音々 | (肉用牛・経営体育成) |
| 主査農業普及員 | 佐藤 美和子 | (野菜・経営体育成) |
| 技師 | 工藤 大和 | (酪農・経営体育成) |

産地育成課

技術主幹兼産地育成課長 伊藤 勝浩

課員 (4名)

| | | |
|---------|--------|------|
| 主任農業普及員 | 佐々木 裕二 | (野菜) |
| 農業普及員 | 松橋 伊織 | (野菜) |
| 技師 | 鈴木 涼介 | (水稲) |
| 技師 | 佐々木 絢菜 | (果樹) |

地域指導課

地域指導課長 長谷川 聡

課員 (6名)

| | | |
|----------|-------|---------------|
| 上席農業普及員 | 千葉 守 | (総括、集落営農) |
| 主査農業普及員 | 安部 宏美 | (担い手確保・育成、花き) |
| 農業普及員 | 村上 大樹 | (新規就農) |
| 農業普及員 | 織笠 千夏 | (農村活性化、果樹) |
| 主任行政専門員 | 安部 弘明 | (庶務) |
| 会計年度任用職員 | 佐藤 香 | (庶務) |



～転入者の紹介～



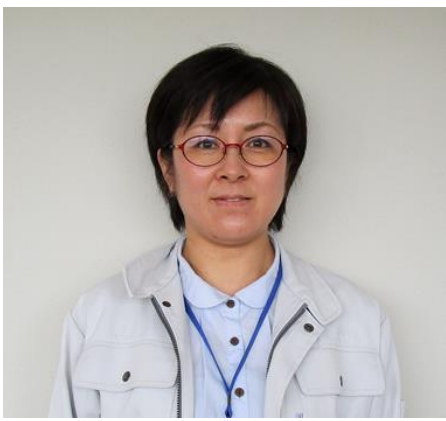
氏名：小田中 浩哉（おだなか ひろや）
役職：経営指導課長
前所属：宮古農業改良普及センター（上席農業普及員）



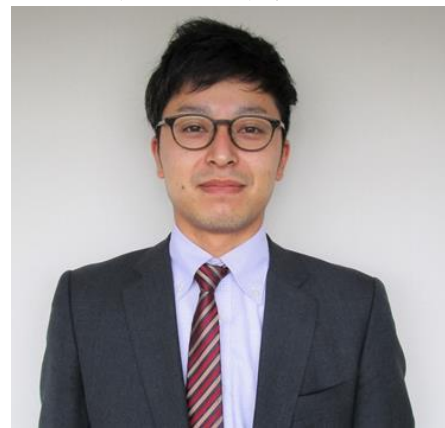
氏名：長谷川 聡（はせがわ さとし）
役職：地域指導課長
前所属：農業研究センター県北農業研究所（作物研究室長）



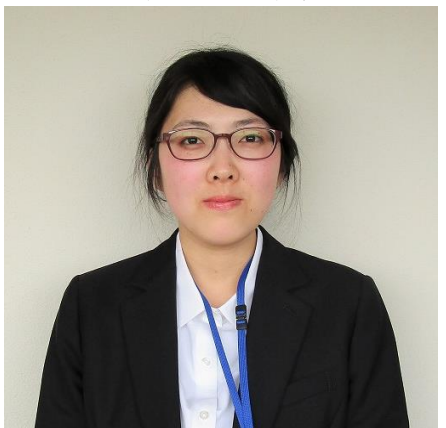
氏名：佐藤 千秋（さとう ちあき）
役職：上席農業普及員
前所属：一関農業改良普及センター（上席農業普及員）



氏名：小川 音々（おがわ ねね）
役職：上席農業普及員
前所属：一関農業改良普及センター（上席農業普及員）



氏名：村上 大樹（むらかみ たいき）
役職：農業普及員
前所属：県庁・農業振興課（技師）



氏名：佐々木 絢菜（ささき じゅんな）
役職：技師
前所属：新採用



～転出者の紹介～

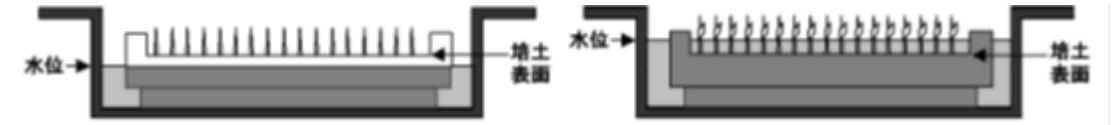
| 氏名（所属） | 転出先 |
|--------------------|----------------------|
| 佐藤 直人（技術主幹兼経営指導課長） | 県南広域振興局農政部花巻農林振興センター |
| 畠山 克也（技術主幹兼地域指導課長） | 八幡平農業改良普及センター |
| 和野 重美（上席農業普及員） | 宮古農業改良普及センター |
| 岩淵 瑛子（主任農業普及員） | 県南広域振興局農政部一関農林振興センター |
| 遊佐 公哉（農業普及員） | 岩手県農業研究センター |
| 舘山保奈美（農業普及員） | 盛岡広域振興局農政部 |

お世話になりました！

【水稲】令和2年産も細菌病の発生に注意しましょう！！

令和元年は、細菌病が感染しやすい気象条件だったため、今年の育苗期には細菌病が多発する恐れがあります。育苗期間中の温度は25℃以下を目安に管理し、特に緑化期の温度管理（日中20～25℃）を徹底しましょう。

「プール育苗」は1回目入水は緑化終了後2～3日以内とし水位の管理をしっかり行うことで、病害抑制効果が期待できます。漏水しないようにシートに穴がないか確認して、適切な水管理ができるよう準備しましょう。



1回目 水位（培土より下）
2回目以降 水位（培土より上）
図1 プール育苗での水管理技術（岩手県稲作指導指針から一部抜粋）

春の農作業安全月間が始まりました！

これから農繁期を迎えます。農作業事故を抑止するため、県では、4月15日から6月15日までを「春の農作業安全月間」とし、農作業事故防止を呼びかけています。安全防護用具の着用、機械の点検、子どもを農業機械に近づけないなど、十分に注意してください。「慣れるほど忘れてしまうその危険、心につけて若葉マーク」のスローガンのもと、余裕を持って農作業を行いましょう。

「守りたい 森と未来を炎から」 山火事防止にご協力ください！

3月1日から5月31日までは「岩手県山火事防止運動月間」です。以下の事項を徹底し、山火事防止にご協力ください。

- (1) 強風時及び乾燥時には、たき火、野焼き、火入れをしないこと
- (2) 燃え広がりやすい枯れ草等のある場所では、たき火、野焼きをしないこと
- (3) たき火や野焼きの場所を離れるときは、完全に消火すること
- (4) たき火や野焼きは一人で行わず、水など消火の備えをすること
- (5) たき火、野焼き、火入れをするときは、消防署に届け出ること
- (6) たばこは、指定された場所で喫煙し、吸い殻は必ず消し、投げ捨てないこと

新型コロナウイルス感染症に係る農林水産相談窓口を奥州地域では県南広域振興局農政部（0197-22-2841）および奥州農業改良普及センター（0197-35-6741）に設置しています。